

Rotary

イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 加藤 勝朗

幹 事 塚越 淳史

会報・雑誌委員長 関 元明

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2984号 2023年1月17日(晴れ) 第26回例会 会員数109名

ハイブリッド例会

点 鐘 加藤 勝朗 会長
司 会 副SAA渡辺(純) 会員

◇ロータリーソング「我等の生業」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇本日のランチ スープ ビーフシチュー パン
サラダ デザート

ビジター紹介 細谷副会長

◇栃木の武将『藤原秀郷』をヒーローにする会

代 表 宮本 誠様

講談師 都 宮子様(本名:中川享子)
(卓話講師)

◇米山記念奨学生

ラグワスレン, アマルサナー君(アマラ君)



会長挨拶 加藤 勝朗 会長

皆さん、こんにちは。先週、宇都宮東ロータリークラブは62周年を迎えました。来月には国際ロータリーは118周年を迎えます。ロータリーのことを知ろうとすれば、その歴史を知らなければなりません。歴史を知る第一歩は当時の時代感覚を体験する事だと思います。当時の時代の空気感を共有することが、現在に至る歴史認識の出発点です。ロータリーに限らず、郷土や日本の歴史を知る事も同様です。100年前あるいは1000年以上も前の時代感覚を呼び起こすことは難しいことです。今日の卓話がその一助になると思います。都宮子様、本日はよろしくお祈りします。

◇奨学金の授与

米山記念奨学生

ラグワスレン, アマルサナー君(アマラ君)



幹事報告

塚越 淳史 幹事

◇1月24日、第5回クラブ協議会。前期決算並びに会計監査報告及び後期予算案の審議と採決。オンラインはなく、現地での開催。

◇ネームプレート置き場に「命の電話」のちらしを置きました。ご自由にお持ちください。

◇電子版ロータリーの友の閲覧のためのID、パスワードを先週メールにて配信。

◇青少年奉仕委員会の善行生徒表彰の事業で図書券が必要なため、販売している方がいらっしゃいましたら幹事までご連絡ください。



委員会報告

◇出席委員会

片山委員長

<皆出席表彰・12月分>

通算25年 轟 宗雄会員

通算16年 渡邊和裕会員

◇スマイルボックス委員会

炭田委員長

菊地正幸会員

昨年の各種鑑評会での受賞実績で、四季桜が県内トップの世界酒造ランキング12位となりました。

若井 勲会員

宇都宮東ロータリークラブ囲碁クラブより傘寿(満80歳)のお祝いを頂戴致しました。

「3分間スピーチ」



菊池 信寿会員

皆さん、こんにちは。「きくちのぶひさ」と申します。入会当時は「きくち しんじゅ」と呼ばれ、なんで「しんじゅ」なのかと思

ました。菊地憲壽さんがいらっしゃるため、息子さんか？と思われて、非常に早く覚えていただいた印象があります。私は渡邊年度の2021年5月に入会いたしました。入会当初はオンラインで、いつも一番前で1人、作業をしていましたので、皆さんとコミュニケーションが取れませんでした。今日は自己紹介をさせていただきます。

ロータリーに入って、最初は緊張と不安を感じていましたが、皆さんに優しく気さくに声をかけていただき、すぐに仲間として温かく迎えられた印象があります。また、入会して知ったのですが、小林弘治会員と小学校、中学校が一緒でした。小林さんからゴルフに誘われ、ゴルフを始めました。新しいチャレンジで、まだ1年ちょっとですが、今後ともよろしく願い致します。

私は宇都宮生まれ、宇都宮育ちで、父が寿司屋をやっています。私は中学校を卒業したら寿司屋になろうと思ったのですが、そのころ回転寿司が出てきて、父に「回転寿司にはかなわないぞ、ITの方がいい」と言われ、ITの道に進みました。事業所の職業分類は情報サービス業ですが、ITのシステム開発やパソコンの販売、そして様々なDX化ということでご相談をいただいて、ご提供しています。それ以外に飲食業として焼き肉屋の牛角を2店舗やっておりますので、焼肉が食べたい時にはうちを思い出していただき、お声かけしていただければと思います。割引券はいつでも持っております。今後ともご指導よろしく願いいたします。

※次回3分間スピーチは今泉 一会員

卓 話

講談：「鉢の木物語」



栃木の武将『藤原秀郷』をヒーローにする会
講談師 都 宮子（本名：中川享子）様
皆様はじめまして。本日はお招きにありがとうございます。私、生まれも育ちも宇都宮で、宇都宮の都と宮の字をいただきまして、「みやこ みやこ」と名乗らせていただいております。

私は、栃木の武将『藤原秀郷』をヒーローにする会の一メンバーです。先程、一緒に紹介していただきました、印刷工場社長の宮本さんから、「享子さん、講談をやったら似合うんじゃない」と言われ、最初は全然乗り気ではなかったのですが、やってみることにになりました。やってみたら楽しいのです。今日は、秀郷のお話と想ったのですが、お話が長いので、秀郷の子孫にあたります佐野源左衛門常世のお話をさせていただきます。こちら栃木の武将でございます。鎌倉幕府、北条時頼が諸国を回り、下野の国にやって来た時のお話で「いざ鎌倉」の語源となったといわれるお話でもあります。

— 講談 「鉢の木物語」 —

※とてもわかりやすく、軽快で迫力のある講談に、会員の皆様も引き込まれ、楽しい卓話の時間となりました。